

11/20 (日) **もしものときに必要な備え 防災訓練を実施しました**



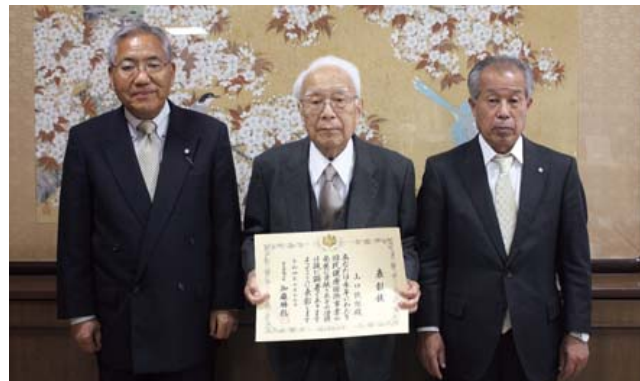
町の防災体制強化のため、東日本大震災規模の地震を想定した防災訓練を実施しました。訓練では、町民の皆様へ避難所の生活環境について確認していただく機会として、町内9か所に避難所を開設しました。町では、今回の訓練でいただいたご意見を活かし、今後も防災力向上に努めていきます。町民の皆様におかれましては、各ご家庭での災害時に備えた取り組みをお願いします。

11/27 (日) **地域活性化プロジェクト報告 「むがーし むがし お国言葉で語っぺよ」**



令和4年度茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト「茨城の民俗遺産による地域活性化プロジェクト」として、「むがーし むがし お国言葉で語っぺよ」が茨城町駒場庁舎で開催されました。「茨城方言の特徴について」と題して、茨城大学人文社会科学部の杉本妙子教授による特別講演があり、これまでの研究と自身の経験を踏まえた、地域における方言の魅力についての講話がありました。その後、おはなしの会「しらゆきひめ」が取り組んだ聞き取り調査の成果として、下石崎の「数珠くり」の説明や紙芝居「カップレもち」の発表が行われたほか、福島県富岡町の昔話が福島の方で語られました。しらゆきひめ30周年共同企画として開催したおはなし会には73人が参加し、「とても楽しかった。懐かしい気持ちになった。」といった感想が多く寄せられました。

11/10 (木) **山口悦郎さん 国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰**



国保運営協議会 入野会長 山口さん 小林町長

歯科医師の山口悦郎さんは、41年の長きにわたり茨城町国民健康保険運営協議会の委員として、町の国民健康保険の健全な運営のためにご尽力されました。その多大なる功績により、令和4年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞されました。心からお祝いを申し上げ、ますますのご健勝をお祈り申し上げます。

11/21(月) /24(木) **町内学校給食に町内産新米を提供 茨城町穀物改良協会 米消費拡大運動**



(撮影 青葉小)

ひめ丸くんウィークの町内学校給食の献立に、茨城町穀物改良協会から提供された町内産コシヒカリの新米を使ったご飯が登場しました。茨城町穀物改良協会は、町内の米集荷業者と米生産農家で構成されており、毎年消費拡大運動として町内産米のPRを実施しています。今回は給食に町内産新米を提供することで、子どもたちに町内産米の地産地消への興味を持ってもらえる活動にしよう企画されました。21日(月)に提供されたご飯を食べた児童は、「お米が光っている。おかず無しでもおいしい。」と笑顔いっぱい喜んでいました。

10/31 (月) **茨城県猟友会東部支部 涸沼自然公園でヤマドリ放鳥を実施**



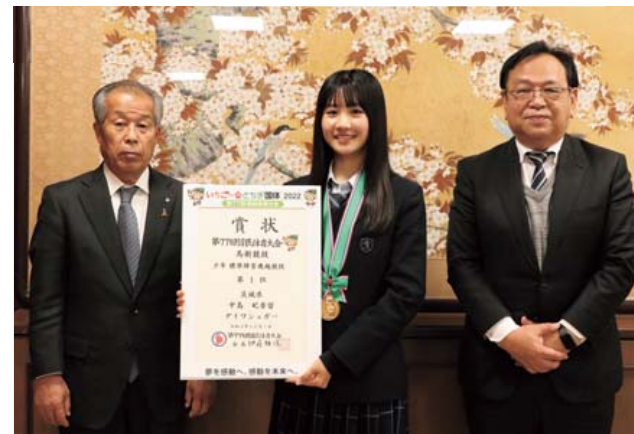
茨城県猟友会の主催する放鳥事業が県内各地で実施され、町内では茨城県猟友会東部支部により、鳥獣保護区である涸沼自然公園において、ヤマドリ16羽が県職員立ち会いのもとで放鳥されました。本事業はヤマドリの個体数の維持を図るため、鳥獣保護に基づく事業の一環として実施されており、町内でのヤマドリ放鳥は昨年引き続き3回目の取り組みとなります。

10/22 (土) **クリーンアップひめまネットワーク ひめま流域クリーン作戦の実施**



クリーンアップひめまネットワーク(水野恵美子会長)は、涸沼及び涸沼流域の水質浄化実践活動の一環として、涸沼自然公園周辺でクリーン作戦を実施しました。当日は、約400人が活動に参加し、一人ひとりが熱心に清掃に取り組む姿が見られました。全体で約120kgのごみを回収することができました。

11/7 (月) **中島妃香留さん 栃木国体馬術競技 少年標準障害飛越競技 優勝を報告**



小林町長 中島さん 矢口教育長

中島妃香留さん(大戸、水戸葵陵高校3年)が、小林宣夫町長を表敬訪問し、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体(令和4年10月1日～10月11日開催)」において、馬術競技の少年標準障害飛越競技で優勝したことを報告しました。中島さんは少年トップスコア競技でも3位と好成績をあげており、「年齢制限により少年の部への出場は今年が最後となるので、優勝を目指していた。これからも、馬と接する時間を大切に、馬術を続けていきたい。」と馬への愛情をにじませながら、今後の抱負を語りました。

11/1 (火) **青葉小6年生 「地域のプロから職業を学ぶ」活動実施**



青葉小学校において、体験学習「地域のプロから職業を学ぶ活動」が行われました。この学習活動は、同校6年生を対象に、さまざまな職業に就いている地域の方々から話を聞き、実演や体験活動を通して職業について学ぶ目的で実施されており、今年で2回目の開催となります。当日は、介護福祉士、農家など12業種のプロフェッショナルがつどい、「仕事のやりがい」について生の声を聞く貴重な機会となりました。実際に介護福祉体験を行った東ヶ崎楓さん(6年)は、「車いす体験がとても勉強になった。今後、介護を受ける人と関わるときは、今日学んだことを思い出して、相手を思いやっていきたい。」と笑顔を見せました。